

【別紙 1】

第 9 号様式(第 7 条関係)

政務活動費収支報告書

令和 6 年 3 月 3 1 日

神埼市議会議長 田原 和幸 様

住所又は所在地団体の名称

翔政会

議員氏名又は経理責任者氏名

原口 ひさよ



令和 5 年 4 月 3 日付、神埼市議会第 1 2 号で交付決定を受けた政務活動費の収支報告書を神埼市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第 7 条に基づき、別紙のとおり提出します。

添付書類

- (1) 事業成績書
- (2) 収支決算書
- (3) 領収証書
- (4) 領収証書を徴することが困難な場合は会派代表者又は議員の支払証明書
- (5) その他 ()



事業成績書（令和5年度）

政務活動 実施内容	（実施した政務活動の概要） ① 岡山県矢掛町行政視察 ② 議員ナビ 購読 ③ 書籍購入 地方議員の予算・決算審議 一般質問の仕方 ④ 川本達志先生研修会 ⑤ 宮城県栗原市行政視察 ⑥ 青森県弘前市行政視察 ⑦ 土山希美枝先生研修会
成 果	（実施した活動による成果） ① 地域活性化の取り組み、古民家再生、街並み景観整備事業について ② 議員活動のための実践やノウハウ等の情報収集 ③ 議員活動のための基礎知識 ④ 議員活動の為の基礎知識と財政のポイントを学ぶ ⑤ 移住・定住対策と子育て支援について ⑥ 農業里親研修事業について ⑦ 政策議会の一般質問、議員力を高める、議会力にいかす等学ぶ

【別紙3】

政務活動費収支決算書

(令和5年度)

1 収入

単位：円

科目	予算額	決算額	適用
政務活動費	480,000	480,000	
その他	0	1	預金利息
計	480,000	480,001	

2 支出

単位：円

科目	予算額	決算額	適用
調査研究費	30,000	375,717	
研修費	200,000	20,000	
会議費	0	0	
資料作成費	70,000	0	
資料購入費	30,000	37,400	
広報費	30,000	0	
事務費	120,000	46,000	
計	480,000	479,117	

政務活動費支出明細書

領収書 番号	支 出 年月日	内 容	支 出 先	支出金額							備考
				調査 研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	
合 計				375,717	20,000	0	0	37,400	0	46,000	
1	4月26日	4月17～18日：費用弁償 矢掛町：観光による地域活性化の取組み	翔政会会派議員 2名	91,000							会派議員2名分 公共料金につき行程・ 費用弁償計算書を添付
2	4月26日	4月17～18日：お土産代 矢掛町：観光による地域活性化の取組み 3,516円÷5名(参加議員)×2名=1,407円	大串製菓	1,407							視察先【お土産代】
3	6月9日	議員NAVI Plus購読料 (2023年4月～2024年3月)	第一法規(株)					26,400			
4	6月27日	書籍「50のポイントで分かる地方議員予算審議・ 決算審査 ハンドブック」 (@2,970*2冊)	杉山書店					5,940			
	6月27日	書籍「地方議員のための役所を動かす質問の仕 方」 (@2,530円*2冊)	杉山書店					5,060			
5	7月26日	川本達志先生研修会参加費 (@5,000円*2名分)	地方自治を考える会		10,000						
6	11月4日	11月15～17日：費用弁償 栗原市：移住・定住対策と子育て支援について 弘前市：農業里親研修事業について	翔政会会派議員 2名	281,350							会派議員2名分 公共料金につき行程・ 費用弁償計算書を添付
7	11月15日	11月15～17日：お土産代 栗原市：移住・定住対策と子育て支援について 弘前市：農業里親研修事業について 4,900円÷5名(参加議員)×2名=1,960円	村岡屋	1,960							視察先【お土産代】
8	2月2日	土山希美枝先生研修会参加費 (@5,000円*2名分)	地方自治を学びあう会		10,000						
9	3月31日	携帯電話通信料補助	翔政会会派議員 2名							24,000	R5.4～R6.3(12カ月分)
10	3月31日	携帯電話通信料補助	翔政会会派議員 2名							22,000	R5.4～R6.3(11カ月分)

(別紙)

政務活動（調査研究・研修）結果報告書

会派名：翔政会_____

議員名：原口 ひさよ_____

用務地：岡山県矢掛町

期 日：R 5 年 4 月 1 7 日～4 月 1 8 日

目 的：地域活性化の取り組み、古民家再生、街並み景観整備事業について
所 感

矢掛町は面積 90.62km²で人口 1 3 3 5 6 人の歴史と文化の街であり、本陣・脇本陣が揃って残る山陽道の宿場町として栄え、街道沿には江戸時代後期まで形成された地割に妻入と平入の町家が混在した変化ある屋並が見られる。

矢掛宿は面積約 11.5 ヘクタール 昭和 4 4 年 本陣 脇本陣の主要建物が重要文化財の指定を受けるが、大きな水害にみまわれ町民の気持ちが沈んでいくのを元気づけようと商工会の方々が立ち上がり、昭和 5 1 年に第 1 回宿場まつり大名行列を開催される。

その後旧矢掛脇本陣高草家 旧矢掛本陣石井家の住宅解体修理 更に矢掛宿伝統的建造物群保存対策調査を実施。R 5 年には岡山県街並み保存地区指定となり、第 1 次街並み景観整備事業 H 9 年まで 5 年間で 3 5 件、H 1 4 年～H 1 9 年 第 2 次街並み景観整備事業では 3 7 件を修理・修景を町民の方々の協力で実施した。景観整備に係る補助については、間口 1 m が対象で第 1 期分の事業費の 2 分の 1、3 0 0 万円が上限 第 2 期分は 8 0 % 4 0 0 万円を上限とし整備がなされた。間口が狭く奥行が長い「ウナギの寝床」が特徴である。

古民家再生事業の取り組みへの経緯としては、人口減少 空家 空地の増加に危惧し、町並みにある古民家の寄付、売却の申し出や解体の情報をもとに有効な財源を活用し「やかげ町家交流館」整備など行い、R2 年重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

R3 年本陣 脇本陣間を主とする重点区間の無電柱化工事を実施し保存地区の活用とまちづくりに取り組まれていた。

町並みは商店街となっているため、矢掛まるごと道の駅をコンセプトに、隣接する商店街を道の駅の物販、飲食コーナーとして一本化し、全体的な活性化を目指すとともに来訪者の誘導と定住化を支援する。

(株) やかげ宿が指定管理者として R3 年 3 月 28 日に開業し、1 年間で延べ 2 4 万人の来館者を迎えた。

また、神崎市に置き換えて考えたときに参考となるものがあるのか、再度、研究をしていく必要があると思った。

(別紙)

政務活動（調査研究・研修）結果報告書

会派名： 翔政会

議員名：服巻玉美

用務地： 岡山県矢掛町

期 日： 令和5年4月17日～令和5年4月18日

目 的： ・街並み景観整備事業の取り組み内容について

・古民家再生事業の取り組みについて

・混交による地域活性化の取り組みについて

所 感

矢掛宿は「本陣・脇本陣が揃って残る山陽道の宿場町」と、名打ってあるだけあって、400年前の参勤交代の時の風景がそのまま残っている町であり、ストーリーもある町です。太平洋戦争の戦火にもあわず、白壁の土蔵造りがたくさんあって、それをリニューアルして、宿泊所にされたりビジターセンターになったりと洗練された特別感のある町でした。

私たちが泊まった矢掛屋本館の3件隣のおじいさんが私たちにいろんなことを教えてくださいました。自分が住んでいる家は江戸時代末期に建てられたもの、今の山陽道と旧山陽道の間にあり、90Mの長屋だということ、第1次街並み景観整備事業実施時に手をあげ、玄関と屋根瓦を日本風になおしたこと、街中には玄関など今風のものが残っている事、この事業は40年かかって今の街並みになりここまできれいになっていると言われてました。

こういうことを見たり聞いたりして、これから取り組む神埼宿の再生事業が成功するのか不安である。神埼宿には昔の建物はほとんどのこっていない。宿泊所にできるような大きな建物もない。伝統的建造物群も重要文化財の指定をうけるような建物もない。昔の街並み保存もないではないか。矢掛町を見本にはできないが、神埼宿をどのような街並みにしたいのか、これから神埼宿をどのようにしたいのか関心をもってみていく。

神埼市にはやるべきことがたくさんある。旧神埼ホテル跡地と仁比山公園、仁比山神社をふくめた一体的な開発であったり、旧庁舎跡地の開発、北部丘陵土砂採取場跡地などの方が先ではなかろうか。

神崎市議会 翔政会 研修報告

日時 令和5年7月26日(水) 10:00～16:00

場所 伊万里市大坪コミュニティセンター研修室

講師 元・広島県二日市市副市長 川本達志氏

研修内容

午前 1期目に絶対注意してほしいこと／職員から見た議員の見える方／基礎知識としての財政のポイント／セミナーで一番多い質問の共有／

先輩議員に教えてもらおうとダメになる例

午後 相手を知り自分を知る～役所の仕組みとスケジュール／質疑や質問の組み立て方／過去5,000人が聞いた「役所を動かす質問の仕方」の必須条件／議会と議員が出来ること、出来ないこと／先進事例を自分の街で質問することの問題点

今回の研修は新人向けとなっていましたが、復讐の意味で基礎知識について研修に参加した。

議員は討議と意思決定を役割とする代表機関（議会）の構成員であり、住民福祉の増進という目的を実現するために調査と意思表明を職務とする公務員である。

また、予算・財政ポイント 予算要求するための事業計画 予算審議の視点等改めて認識させられた。

神崎市議会 翔政会 原口 ひさよ

(別紙)

政務活動（調査研究・研修）結果報告書

会派名： 翔政会

議員名： 服巻玉美

用務地： 佐賀県伊万里市

期 日： 令和5年7月26日

目 的： 議員活動新人研修 1・2

所 感

1. 1期目にやってほしいこと、

「自主的かつ総合的に」職務を遂行するためには、基礎知識として、
地方自治特有の法律的な知識が必要。これらを常識にしなければなら
ない。1期目はまず学ぶこと。

2. 議員と職員の関係

適格な質問・質疑をする議員はリスペクトされる。職員の対応も丁寧にな
る。行政に携わるプロとして、職員とお互い役割を尊重しながら対話
できるようになりたい。

3. 基礎知識としての財政ポイント

- ・会計年度独立の原則 例外は「繰越明許費」
- ・総計予算主義・事前議決の原則

4. 執行部を知る

- ・役所は（執行機関）は何をしているのか
- ・「行政」とは何か
- ・「役所」の体質 無謬主義、縦割り組織、時間がかかる

5. 議会と職員ができることできないこと

- ・そもそも仕事は段取りがすべて。良い質問・質疑をするにも良い準備
が必要
- ・質疑や発言は議事録に残る。個人の主観や感情ではなく、事実や理論
に基づき発言をする

6. 「役所を動かす質問の仕方」の必須条件

・定例会中の本会議において、議員が一人の議員として、執行部の政策、施策のあり方の問題点を問い質し、必要な場合は具体的な施策を提案し実行を要請するもの

・インターネット（録画）放映されることなどから、より綿密な準備の下に、裁良のパフォーマンスが求められる

2期目の私ですが、基礎知識すら解っていない自分をみつけだしました。地方自治特有の法律的な知識など解ってなかった。もう一度立ち戻って勉強しなければ・・・。

私が行ってきた一般質問はほんとうに問題点を洗い出していたのか疑問である。

これからは、もう少し下準備を行い、良いパフォーマンスできるように準備していきたい。

神崎市議会 翔政会 行政視察研修報告

令和5年11月15日

宮城県栗原市 移住・定住対策と子育て支援について

栗原市は宮城県内陸北部に位置し、面積の8割近くが森林や原野、田畑となっている。平成17年4月に栗原郡9町1村が合併 人口62,083人 神崎市の約2倍の人口の市である。

栗原市は定住戦略室が設置され、移住定住サポート事業をはじめ空家等利活用推進事業、交流・移住プラットフォーム創出事業、出会いサポート事業、移住定住情報発信事業、定住促進事業、地域おこし協力隊活動事業と神崎市と内容は違っても同様の事業が進められていた。

栗原市の強みとして市民（新たな移住者）地域 行政の3つの「チカラ」が補完しあって「チーム力」ができています。その1つとして、市民のチカラの移住定住コンシェルジュとの連携、公民連携による移住定住の推進力として市民の取り組みを積極的に支援してくれる方々が23組36人を委嘱している。

移住者が新たに移住してきた方を支援し、点と点だった移住者を線にしていく「ゆるやかなつながりネットワークの構築」移住をキーワードとした志縁の受け皿づくりがおこなわれていた。

令和2年「コンシェルジュマップ」を作成完成された。また、行政のチカラとしては、首都圏等での移住相談会、支援員の設置、コンシェルジュ等と連携した移住相談等々、市民 地域 行政が連携した取り組みをおこなっていた。

その結果、県内や仙台市 東北首都圏等から移住してくる人が多かった。県内からの移住については震災等が関係するものであった。

移住定住の施策に伴い子育て支援策もおこなわれている。支援内容としては神崎市がおこなっている事業と殆ど同じようなものであり、子育て支援においては、神崎市が進んでいるように感じ、特に参考になるものではなかったと思った。

移住定住に関しては、震災等のため安全な地域に移り住む傾向多いことから、上記のような支援や連携ができたのではと感じた。

令和5年11月16日

青森県弘前市 農業里親研修事業について

弘前市は平成18年に合併し人口161,998人で予算規模は令和5年一般会計当初予算額789.8億円の市である。

市内総生産額に占める第1次産業の割合は4.0%で全国の4倍、市内就業人口に占める第1次産業の割合は全国の約4.2倍と大きく、第2次、第3次産業においても、りんご関連産業が多く存在し、第1次産業が地域の基幹産業となっていることから、維持 発掘が地域振興に欠かせない。りんご農家が大半を占める中で高齢化、後継者不足が深刻な問題となっている。このような中 令和2年度より農業里親研修・第三者継承の事業が実施された。

内容としては、就農希望者がひろさき農業総合支援協議会へ就農相談をし里親農家を紹介し里親研修となる。研修はトライアル研修（1～5日間のお試し）から里親実践研修1年～3年以内の中長期技術習得研修を得て就農「独立自営」または「雇用による就農」が選択できるようになっている。

この事業を実施するに当たり、里親農家への支援 就農希望者への準備金として150万円/年 家賃の補助も支援が施されていた。

担い手不足 労働力不足に少しでも対応するため、臨時的な雇用を確保することが不可欠であるため、短期雇用派遣システムの構築（旧農業バイトアプリ）や新たな地域貢献の実践（市役所職員の兼業によるりんご生産アルバイトの推進）が実施されていた。

令和4年度に職員9名7件の農家に従事された。市内の民間企業・団体等にも更に波及することに期待しているとのことであった。

神崎市としても第1次産業の担い手不足、労働力不足も大きな課題であり独自の取り組みが必要と感じている。

神崎市議会 翔政会 原口ひさよ

(別紙)

政務活動（調査研究・研修）結果報告書

会派名： 翔政会

議員名： 服巻玉美

用務地： 宮城県栗原市

期 日： 令和5年11月15日

目 的： 移住、定住対策と子育て支援

所 感

1. 定住促進事業

- ・ 企画部の中に定住戦略室があり、2名の専従者がいる
- ・ 移住定住サポート事業として、移住定住コンセルジュがいる

令和2年コンセルジュマップを作製、完成

- ・ 地域のチカラ

花山地区 小さな拠点形成プロジェクト

栗駒六日町通り商店街活性化プロジェクト

- ・ 行政のチカラ

首都圏での移住相談会 移住定住支援員の設置

- ・ 地域おこし協力隊との連携

花山地区小さな拠点形成プロジェクトに2名採用

交流・移住プロットホーム創出プロジェクトに2名採用

補助金については神崎市とあまり変わらないことが行われている。しかし、神崎市にはないコンセルジュの設置やマップの作製や空き家の片づけ隊など、神崎市にもあったらいいな、と思える施策が数多くみうけられた。

移住体験住宅など、関係人口を増やす施策も必要ではないかと思う。地域おこし協力隊による移住交流にもチカラを入れられないだろうか。

2. 子育て支援について

- ・ 幸せ運ぶこうのとり応援事業

- ・ 子供家庭支援員訪問事業

- ・ すこやか子育て支援金支給事業
- ・ 子育て応援医療費助成事業
- ・ 赤ちゃん用品支給事業
- ・ 保育所入所サービス
- ・ 保育所延長・一時保育事業
- ・ 保育所病後児保育事業
- ・ 保育所巡回相談事業
- ・ 地域子育て支援センター事業
- ・ 小学校入学支援事業
- ・ 幼稚園入園及び預かり保育事業
- ・ その他 5 事業

栗原郡 9 町 1 村が合併してできた栗並市。子育て支援にも手厚い独自の施策がた
くさんある。子育て支援が手厚いから移住してこられる家族も多いに違いない。
神崎市にも取り入れることのできる事業はあると思うが、支援金額も多額になる
だろう。移住者をうけいれるためには子育て支援事業、大切な事だと思う。これ
からの神崎市の将来を担ってくれる子供たちのための支援は大切である。

(別紙)

政務活動（調査研究・研修）結果報告書

会派名： 翔政会

議員名： 服巻玉美

用務地： 青森県弘前市

期 日： 令和 5 年 11 月 16 日

目 的： 農業里親研修事業

所 感

1. 弘前市農業の現状

- ・全販売農家数りんご販売農家数の推移

全販売農家数は令和 2 年 4687 経営体、平成 27 年と比較 18%減少

りんご作付経営体令和 2 年 4045 経営体、H.27 年と比較 18.2%減少

- ・高齢化・後継者不足

農業従事者の平均年齢は R.2 年 63.8 歳、65 歳以上の割合 54.5%

後継者の確保状況は大半の経営体が後継者不在

2.担い手・補助労働力の育成・確保に向けて

- ・新規就農者の育成・確保

- ・新規参入者等に対するサポート体制の構築（農業里親研修）

- ・補助労働力の必要性和働き手が求めるもの

- ・気軽に働ける短期雇用派遣システムの構築（旧農業バイトアプリ）

- ・後継者不在農家等の園地継承に係る取り組み

3.園地継承円滑化システムについて

- ・後継者不在農家が約 7 割を占める中、詳細な園地情報をリスト化し、円滑に継承できる仕組みを構築しよう。

- ・市 HP で作成できる範囲内で構築したため、システム構築費用 0 円で実現。R.4 年 11 月 25 日公開

弘前市の里親制度は里親農家が非農家出身者等の就農希望者を受け入れ、実践的な技術指導や地域定着に向けた取り組みを支援している。神埼市では背振町のピーマン、千代田町のアスパラでトレーナー制度を取り入れて、新規就農者への技

術指導をおこなっている。神埼市のトレーナー制度は毎年1名づつとなっており、一度に大人数の受け入れができない。これから先、新規就農者をどれだけ増やしていけるか、が課題とおもわれる。神埼市にも里親制度的なものをとりいれ、後継者のいない農家さんに第三者継承も考える必要があるかもしれない。

R6年2月2日

伊万里市民センターにおいて、法政大学法学部教授土山希美枝先生による一般質問を政策につなげるための研修会に参加した。

議員にとって、議会にとっての一般質問、その機能と課題
一般質問はなぜ機能していないのか。これは背景、構造の課題であり議会議員の過去の在り方の問題である。

無謬の行政、幻想によりかかる議員、議会、行政の相互依存
議員の気づき提起を議会の政策資源にするルール不足。

その他にも政策議会の議員や、活動の力、質を支えるシクミ（スタッフや研修）の不足などが考えられる。

機能する一般質問のために論点を整理すること。

まず、素材（質問）を書き出し優先順位や情報の整理をする。

論点は事実と意見で構成される。

事実（現状、問題状況）

意見（分析＝事実から言えること）

意見（主張＝言いたいこと）根拠がなければならない。

また、機能する一般質問のために争点を発見し、現状と事実でとらえ分析するための情報収集を行なうことで、機能する一般質問につながることを改めて痛感した。

その他、議会基本条例と政策議会の先進的な取組事例の紹介などを研修した。

これまでの、一般質問を振り返り反省するところである。

この研修を受け一般質問の組み立て方を考え直す良い機会となった。

原口ひさよ

—
—
—
—
—
—
—

(別紙)

政務活動（調査研究・研修）結果報告書

会派名： 翔政会

議員名： 服巻玉美

用務地：佐賀県伊万里市

期 日：令和6年2月2日

目 的：政策議会の一般質問 議員力を高める 議会力にいかす

所 感

法政大学 土山希美枝教授

1. 一般質問はなぜ機能していないのか
 - ・一般質問「そのもの」の課題・残念な質問、もったいない質問
その質問は町を良くするために「問い質し」しているか
 - ・一般質問が機能していない背景、構造の問題
2. 機能する一般質問のために
 - ・論点を整理して磨こう
一般質問は「事実」-「分析」-「主張」で構成される
 - ・〈争点〉を発見し、現状を「事実」でとらえ、分脊家するための情報収集
「困りごと」の当事者、課題の現場を特定する
 - ・一般質問の「問いただき方」を考える
答弁調整をどこまでやるか
 - ・つまり、いい「一般質問」とは、どんな質問
一般質問の議論を通じて「納得」にたどりつく

この講議を受けて、自分がやってきた一般質問がほんとうにいい一般質問だったのかを考えさせられました。

市民の要望に応えるような質問ができたのか。残念な質問、もったいない質問であったのではないか。でも、今更問いただしてもどうしようもない。これからは、今回学んだ事を少しでも取り入れられるように考えなければいけない、と思った。いい一般質問をしても「議員おひとりが言っている事」といわれないよう、事実—分析—主張が入れられるよう考えながら、一般質問をやっていきたい。